

# 文書館だより

Fukui Prefectural Archives



▲ 県庁前で出発を待つ結核予防キャラバン隊(1960年) 当館蔵(60527)

## 第15号目次

特集 若き春嶽の時代 .....	2
資料紹介 原蚕種製造所の設置 .....	4
寄贈資料紹介 .....	5
県広報写真の整理と利用 .....	6
活動報告 .....	7
お知らせ .....	8

第15号

2010.03

福井県文書館

◆◆ 特集 叢書紹介 ◆◆

# 若き春嶽の時代

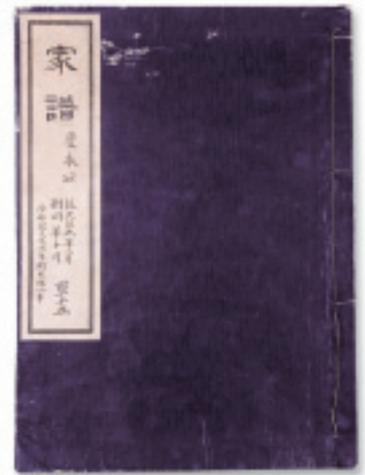
## ～「家譜」から見た藩政改革～

◀「海浜巡視水陸路程図」(部分) 福井市春嶽公記念文庫  
福井市立郷土歴史博物館蔵  
嘉永3年9月、松平慶永が海岸御備場巡視のために坂井郡泥原新保浦(現坂井市三国町新保)に赴いた際の路程図です。図左側の「カガリノマ篝山御台場」「西尾十左衛門高島流砲術丁場」「長谷川八十郎丁場」で大砲の試射が行われました。

このほど当館では、資料叢書第4巻・第5巻として『越前松平家<sup>かふ</sup>家譜』慶永1・2を刊行する運びとなりました。

「家譜」は初代福井藩主結城秀康から、最後の藩主松平茂昭<sup>もちあき</sup>にいたる253巻に加え、慶永(春嶽)が藩主を退いたのち、明治以降の記述が追加として17巻存在しており、270巻にわたって松平家の記録が綴られています。当館では平成21年度と22年度で慶永に関する部分を5冊に分けて活字化する予定です。21年度に発行する第4巻・第5巻では、慶永が藩主となる天保9年(1838)から、嘉永6年(1853)までをとりあげます。

「家譜」の内容は越前松平家の冠婚葬祭や幕府・将軍家との諸儀礼および幕府法令等がかなりの部分を占めていますが、藩内の法令や財政・自然災害など、藩政全般にわたる記述も少なからずみられ、幕末の福井藩の状態をうかがい知る基礎的な資料となっています。



▲「家譜」(表紙) 越葵文庫  
福井市立郷土歴史博物館保管  
今年度は慶永代53冊中、20冊分(天保9年～嘉永6年)を活字化。

一十月廿日御名代日向守様<sup>御紗麻</sup> 御用番松平  
和泉守殿御宅江御出被成候処、御老中列座和泉守殿  
左之通御書付御渡有之  
三拾貳万石  
養子 松平越前守跡  
名代 同 錦之丞  
松平日向守江  
越前守遺領無相違養子錦之丞江(以下略)

一十月廿日御名代日向守様 御用番松平  
和泉守殿御宅江御出被成候処、御老中列座和泉守殿  
左之通御書付御渡有之  
三拾貳万石  
養子 松平越前守跡  
名代 同 錦之丞  
松平日向守江

◀「家譜」(部分、天保9年10月)  
越葵文庫  
福井市立郷土歴史博物館保管  
松平錦之丞(慶永の幼名)が越前守(前藩主齊善)の遺領32万石を継承したことが記されています。



▲ 日年御借財調之口々（部分、弘化2年） 松平文庫 福井県立図書館保管  
 「惣ノ八拾九万八千五百八十五兩余」が借財の合計です。財政再建は藩の最大の課題でした。

第4巻では福井藩の最重要課題であった90万両ともいわれる借財に対して、わずか11歳で藩主となった松平慶永が、家中に儉約を求めのみならず、みずから質素儉約に努め、手元金を半減するなどして財政悪化を食い止めようとする様子、藩札の大量発行による経済の混乱などが具体的に見られます。一方で中根雪江らが登用され、藩政改革が始まりつつあることが知られます。

続く第5巻ではより徹底した儉約に加えて、50年にわたって続けられた産物政策の中止と農業振興という藩政の転換、外交関係の緊張に伴う海岸の巡見や台場築造、軍制の洋式化、大規模な調練（軍事訓練）などの記録が見られます。そしてペリー来航の嘉永6年には、幕府からの命を受けて在府藩士が品川御殿山の警衛にあたり、福井からも出兵準備を進めたこと、外国人とのやり取りに関する照会などが記されています。多くの皆様にご活用いただけることを願っています。



▶ 「大名小路神田橋内桜田之図」  
（部分、文久3年）  
 松平文庫 福井県立図書館保管  
 内桜田（現東京都千代田区）の地域を描いた絵図です。右下に「松平越前守」とあるのが福井藩邸で、朱色の「上」は上屋敷を表わしています。

◆◆ 資料紹介 ◆◆

げんさんしゅ  
福井県原蚕種製造所の設置  
— 養蚕業試験研究の開始 —



▲「福井県原蚕種製造所桑園」大正5年(1916) 当館蔵(40007389)

福井県では、かつて羽二重など絹織物業が発展を支えた主要産業でした。絹織物は生糸を織ったもの、その生糸は繭まゆから作られましたが、蚕かいこによって繭を製造するのが養蚕です。明治36年(1903)には、本県の絹織物生産額が全国1位に躍進しましたが、そのことは原材料である繭の生産増加と良質化のため蚕種の改良が急務となりました。

『御即位大典記念事業』(福井県編、大正5年)によれば、福井県は大正天皇即位大典の記念事業を2つ実施しました。原蚕種製造所の設置はその1つで、人材育成のための工業学校の設置とともに、輸出羽二重その他織物発展のための急務の事業として実施されたのです。同書の原蚕種製造所の説明は、次のとおりです。

「本県輸出羽二重ノ産額ハ実ニ二千三百万円ノ多キヲ算スルニ拘ハラス 之カ原料生糸ハ多ク他府県ニ之カ供給ヲ仰クノ状態ニシテ 繭ノ産額亦漸ク三万三千石内外ニ過キス 而シテ本県ノ蚕種製造額ハ梓製二百万蛾普通製二万五千枚ナルカ其品質粗悪ノモノ多シ 故ニ将来産繭額ヲ増加シ製糸ノ改良ヲ期スルニハ蚕種ノ改良ヲ最モ急務ナリト認メ 大正四年度ニ於テ県立農林学校内ニ原蚕種製造所ヲ併置ス 所費及建築費総額五千九百三十円ヲ要シタリ」

福井県原蚕種製造所は、大正4年4月に吉田郡円山西村町屋(現福井市)の福井県立福井農林学校(現福井農林高等学校)敷地内に設置されました。800坪の敷地内に事務所本館棟、第一蚕室、第二蚕室等の建物があり、このほか円山西村地籍および森田村(現福井市)地籍に桑園を有していました(「事業成績 第参号」(当館蔵)40002790)。

写真は、円山西村松本地籍にあった松本桑園の風景で、写真の裏には、「大正五年四月植付、全年十月十九日撮影」とあります。「甘楽桑かんらくそう」という品種の桑が人の背を大きく超えて成長しています。

なお、福井県原蚕種製造所は、大正11年には福井県蚕業試験場と改称し、養蚕業全般にわたる試験研究を進めましたが、人絹(アセテート)を材料とする繊維産業の構造変化に伴い養蚕業の位置づけが低下し、昭和47年(1972)には福井県農業試験場に統合されました。当館は、原蚕種製造所、蚕業試験場の頃の事業成績等をはじめとする歴史的公文書、行政刊行物を農業試験場から引継いでいます。

◆◆ 古文書紹介 ◆◆

# 寄贈資料紹介

複製本ができたものから公開しています。

## ■ 砂田弘太家文書 (I0034)

不動堂村(現大野市)は高尾山の南側に位置する村で、当家は、半右衛門を称し村役人を務めました。寄贈された資料は、近世資料を中心に(1)太閤検地帳や村の四至を決めた四方搦<sup>がらみ</sup>、(2)売券・質物証文、(3)宗門帳、(4)争論関係など716点です。



## ■ 野尻喜平治家文書 (I0076)

横枕村(現大野市)は真名川と清滝川の間位置する村で、当家は喜平治(次)を称し村役人を務め、明治期には副戸長を務めました。寄贈された資料は、近世資料を中心に(1)年貢、(2)売券・質物証文、(3)用水関係、(4)大野長勝寺関係、(5)入会山関係、(6)頼母子関係など1235点です。



## ■ 宮永節哉家文書 (A0171)

『小学福井県誌』や県立福井中学校、県立福井農林学校、福井師範学校で使用された明治から大正期の教科書15点です。



## ■ 滝本嘉博家文書 (J0127)

1937年から38年にかけて、日中戦争の部隊の様子や戦況を知ることができる戦中日記3点を含む68点です。



## 新たに公開した古文書紹介!

前号紹介後に新たに公開した資料群は以下の通りです。(寄贈文書は除く)

- C0005 坪田仁兵衛家文書 追加 坂井市
- E0012 宮脇豊三家文書 越前市
- E0112 池上芳三家文書 越前市
- C0033 橋本茂兵衛家文書 坂井市
- E0031 藤井五右衛門家文書 越前市
- E0115 内上太右衛門家文書 越前市
- D0062 竹生区有文書 福井市
- E0055 竹本治左衛門家文書 越前市
- G0007 三浦仁左衛門家文書 池田町
- D0064 上天下区有文書 福井市
- E0057 加藤良久家文書 越前市
- G0009 佐飛喜左衛門家文書 池田町
- D0067 風巻区有文書 福井市
- E0079 金剛寺文書 越前市
- H0062 加藤毅家文書 南越前町
- E0009 清水政之家文書 越前市
- E0111 辻茂平家文書 越前市
- O0111 小浜市立図書館(団家旧蔵)文書 小浜市

◆◆所蔵写真紹介◆◆

# 県広報写真の整理と利用

文書館では、広報用に撮影された多くのフィルムと写真を当時の広報課から引き継いでいます。ここでは、現在整理を進めている写真資料についてご紹介します。

## ●写真の整理作業

広報課から引き継いだ写真は、ダンボールに約20箱とアルバム約700冊あり、平成19年度から整理を始めました。



### 作業の流れ

#### ① 整理・目録作成

フィルムや写真を整理しながら、目録を作ります。記録されているタイトルや撮影年月日、コマ数などをパソコンで入力します。



#### ② スキャニング

フィルムや写真をスキャナーで処理し、デジタルデータを作成します。フィルムや写真は経年劣化するので、デジタルデータで保存することは、貴重な資料を後世へ伝えるための重要な手段です。また、インターネットで多くの方に見てもらえるようにするためにも有効な方法です。

#### ⑤ 公開

平成22年3月末現在約3,200件公開しています。今後もさらに公開を進めます。

#### ④ 閲覧制限チェック

写真内に個人情報等が含まれていないかチェックします。

#### ③ サムネイル作成

デジタルデータを加工して、ホームページで公開するためのサムネイルを作成します。

昨年2月から始まった緊急雇用臨時特例基金事業で、文書館の写真整理事業にも臨時職員2名が採用され、整理作業が急ピッチで進みました。



国体パレード 62377



昭和38年雪害 61261



聖火リレー 62150



メリーポピンズ来県 62532



歳末風景  
62407

## ●利用方法

**文書館ホームページトップ→目録データベース→写真** からキーワードを入れて検索してください。

キーワードに「広報」と入力すると、今回ご紹介した広報写真の全件がヒットします。

ホームページで公開している画像は、写真番号1件につき1枚だけですが、同じ写真番号に他の写真が含まれている場合もあります。他の写真の閲覧をご希望の場合は、館内でご覧いただけますのでお申し出ください。また、画像を出版物等に掲載する場合は申請が必要です。掲載に適した鮮明な画像を提供することもできますので、ご相談ください。

## ◆◆ 活動報告 ◆◆

### 文書館の普及啓発活動を紹介します。

文書館は、みなさまに親しまれるよう普及啓発活動を行っております。  
講座や講演会、学校行事や地域での活動など、ぜひ文書館をご利用下さい。

11月

#### 古文書入門講座

春に実施し好評だった古文書入門講座(3回シリーズ)を、同じ内容で再度実施しました。



12月

#### 文書館出前講座

県立大野高等学校の図書館で大野の資料をつかった古文書入門講座を実施しました。



1月

#### ふくいのゆるキャラと すごろく対決

ふくいのゆるキャラのフクリュウくん  
とふっくりんが、子どもたちと100年  
前につくられた双六で対決しました。



2月

#### 文書館出張授業

坂井市春江西小学校3年生の児童の  
皆さんが、双六の複製資料をつかっ  
て昔遊びを体験しました。



#### 県史講座

#### 「発掘から見た福井藩士の生活」

講師 県埋蔵文化財調査センター 河村 健史 氏  
福井城下から出土した資料を手がかりに居住していた上級武士のくらしを紹介していただきました。



#### 講演会

#### 「松平春嶽と明治維新」

講師 奈良大学文学部教授 佐々木 克 氏  
松平春嶽と明治維新を新たな視点でお話いただきました。講演会には約220名の方が参加し、興味深く熱心に聞いておられました。



#### 資料保存研修会

講師 独立行政法人国立公文書館 有友 至 氏  
中島 郁子 氏  
リーフキャストマシンを使った資料の修復方法を学びました。



# お知らせ

## 講座・展示のご案内

### ■ 古文書入門講座

平成22年5月 29日(土) 13:30~15:30

平成22年6月 5日(土) 13:30~15:30

平成22年6月12日(土) 13:30~15:30

定員40名(要申込) 無料

講師：文書館職員 会場：文書館研修室

※ 問い合わせ・申込みは文書館まで。

### ■ 文書館月替展示のご案内

平成22年4月「若き春嶽の時代 - 黒船来航まで -」

5月「唐藍(プルシアンブルー) (仮)」

## 文書館の研修室をご利用ください。



- 文書館の研修室(定員40名)を会議や打ち合わせなどに利用できます。
- 使用する半年前の月の初日から予約を受け付けます。
- インターネットからも研修室の仮予約ができます。



<http://www.shinsei.e-fukui.lg.jp/>

※ 詳細などお気軽に文書館にお問い合わせ下さい。

## ご利用案内

### ■ 開館時間

午前9時から午後5時まで

### ■ 休館日

月曜日(休日は除く)

休日の翌日(土、日、休日は除く)

文書等点検期間(年間10日以内)

年未年始(12月28日~1月4日)

清掃整理日(12月以外の第4木曜日、休日の場合は翌日)

フレンドリーバス(無料)をご利用ください。



## 編集後記

たより第15号をお届けします。今号では、3月刊行の叢書の特集しました。今後も文書館に親しみをもって利用していただくために、さまざまな取り組みを行っていきます。

## Cover Photo Story

表紙写真：『結核予防キャラバン隊』(1960年) 当館蔵(60527)

現在、全国でもトップクラスの健康長寿の福井県ですが、高度経済成長期までの本県の平均寿命は、結核の流行などから全国値を大きく下回っていました。県では、「結核は見かけでわからない」などの横断幕をつけたレントゲン車を使い、早期発見に取り組みました。写真は、県庁前で出発を待つ結核予防キャラバン隊です。



## 文書館だより Fukui Prefectural Archives 第15号

平成22年3月26日発行

編集・発行/福井県文書館

〒918-8113 福井市下馬町51-11 電話 0776-33-8890 FAX 0776-33-8891

ホームページアドレス <http://www.archives.pref.fukui.jp>

電子メールアドレス [bunshokan@pref.fukui.lg.jp](mailto:bunshokan@pref.fukui.lg.jp)

